

公共施設の総量の変化に対する評価について

伊丹市

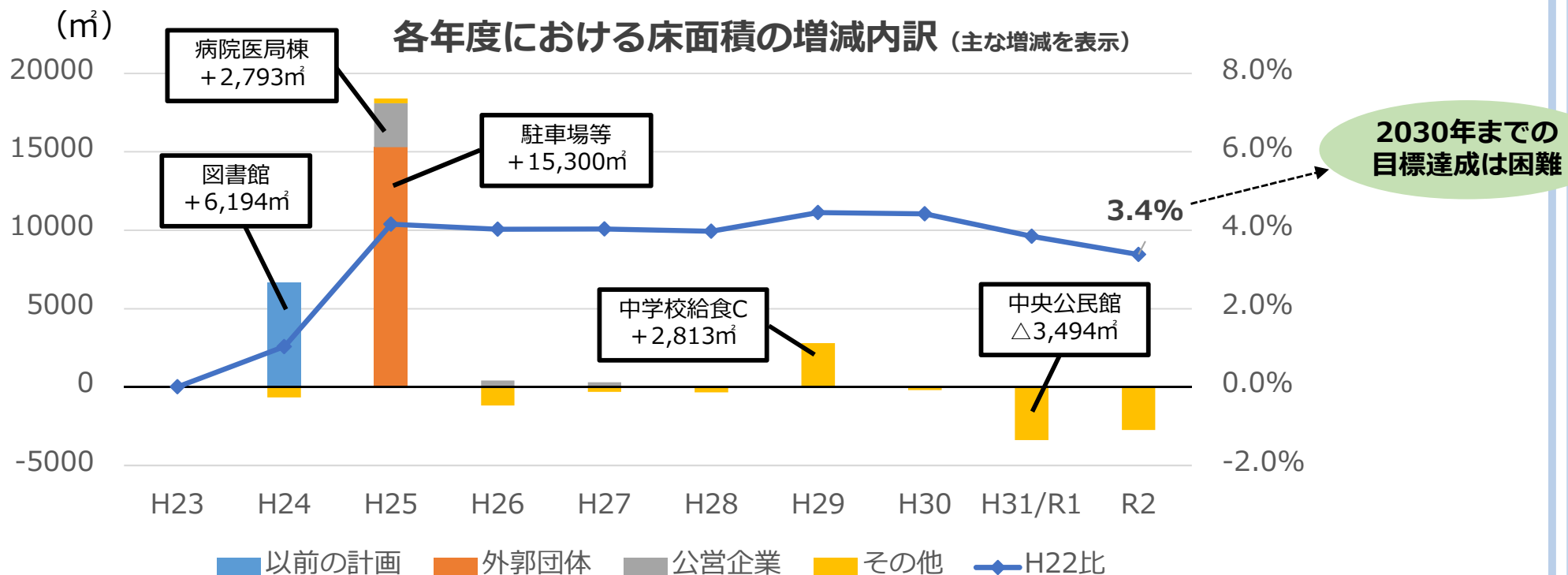
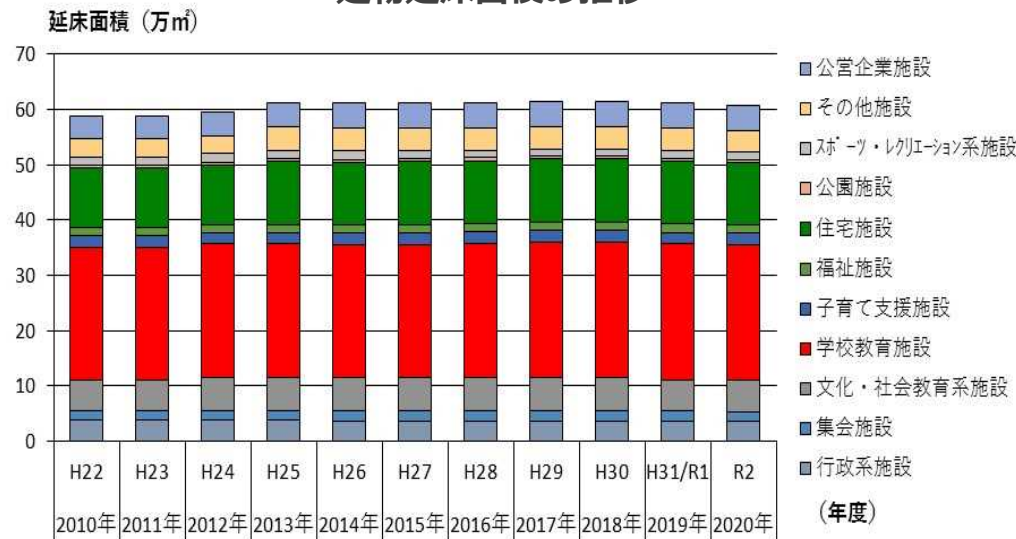
令和4年2月

1. 公共施設の床面積の推移

【床面積の推移について】

- ・ 総延床面積はH22以降、おおむね横ばいで推移（右図）
- ・ R2年度時点で、H22年度比3.4%（約20,000㎡）の増加（下図）
 - ① 外郭団体からの資産譲渡 +15,300㎡
 - ② 公営企業（病院事業）における設備投資 +約2,800㎡
 - ③ 新たな市民ニーズに対応した施設整備（中学校給食C）+約2,800㎡

建物延床面積の推移



2. 床面積の推移（詳細）①

年度	施設名	延床面積 (㎡)		増減要因				
		増加	減少	新築	増築	取得	廃止	備考
H23	市立伊丹高等学校	414	△374	○			○	部室棟
H24	図書館（ことば蔵）	6,194	-	○				
	神津こども園	1,874	-	○				
	神津幼稚園	-	△732				○	廃止後解体
	神津保育所	-	△663				○	廃止後解体
	その他	20	△671		○		○	荒牧出張所増築、教職員宿舍
H25	北池尻団地	5,148	-				○	伊丹市都市整備公社解散に伴う
	JR伊丹駅前駐車場	6,345	-				○	伊丹市都市整備公社解散に伴う
	アリオ地下駐車場	3,806	-				○	伊丹市都市整備公社解散に伴う
	伊丹児童クラブ	410	-	○				専用棟
	伊丹病院	2,793	-		○			医局棟増築
	その他	319	△419	○			○	学校機械室 等
H26	伊丹病院	426	-		○			手術室増築
	市役所本庁舎	-	△1,352				○	南館解体
	その他	200	△31	○	○		○	学校機械室、千僧浄水場 等
H27	荻野保育所	1,096	△891	○			○	移転新築
	こども発達支援センター	2,796	-	○				庁舎南館解体跡地に整備
	つつじ学園	-	△415				○	廃止後解体
	きぼう園・カルミア	-	△1,052				○	譲渡
	荻野配水池	466	-	○				県水の受配水等施設
	天神川雨水ポンプ場	-	△148				○	廃止後解体
	公設市場	180	△2,017	○			○	冷凍冷蔵庫 等

数値目標
設定

4 p 参照

5 p 参照

再配置方針
策定

2. 床面積の推移（詳細）②

年度	施設名	延床面積 (㎡)		増減要因				
		増加	減少	新築	増築	取得	廃止	備考
H28	神津交流センター	1,052	-	○				
	神津センター・支所	-	△732				○	廃止後解体
	野外活動センター	-	△2,043				○	民間事業者へ譲渡
	有岡小学校	2,351	△705		○		○	校舎棟増築・解体（機械室等）
	その他	156	△419		○		○	
H29	中学校給食センター	2,813	-	○				
H30	南畑センター	-	△182				○	廃止後解体
R1	口腔保健センター	635	-			○		
	中央公民館	-	△3,494				○	廃止後解体
	スワンホール	112	-		○			
	西センター	-	△553				○	廃止後解体
	稲野幼稚園	-	-				○	児童クラブに転用
	幼稚園（7）	-	△5,573				○	すずはら、南、緑、桜台、天神川、ささはら、はなさと（廃止後解体）
	桜台保育所	-	△463				○	廃止後解体
	こばと保育所	-	△835				○	廃止後解体
	（新）こばと保育所	922	-	○				
わかばこども園	3,086	-	○					
さくらだいこども園	2,795	-	○					
R2	女性・児童センター	-	△1,288				○	廃止後解体
	児童会館	767	-	○				
	緑ヶ丘センター	-	△538				○	廃止後解体
	市営住宅（2）	-	△1,669				○	行基団地、宮ノ下住宅（廃止後解体）

6 p 参照

3. 外郭団体からの資産譲渡

公園緑化協会
(H24年度未解散)

昆虫館



伊丹スポーツセンター
(H27年度未解散)

体育館等



柿衛文庫
(R2年度資産譲渡)

柿衛文庫



建設費
全額補助

運営費
一部補助

市に移管

(総合管理計画上)

床面積増加なし

※施設の運営・維持管理に市の財政負担が想定されたこと等から、広義で市が公共の用に供する施設に準じる施設とみなし、総量に算入。

都市整備公社
(H24年度未解散)

建設費
一部補助

運営費
一部補助

北池尻団地



JR伊丹駅前
駐車場



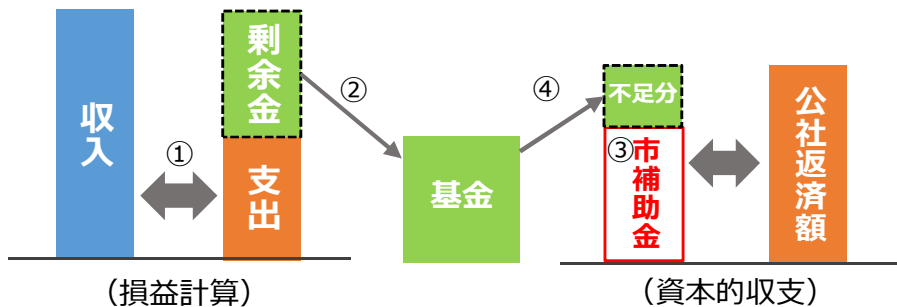
アリオ地下
駐車場



市に移管

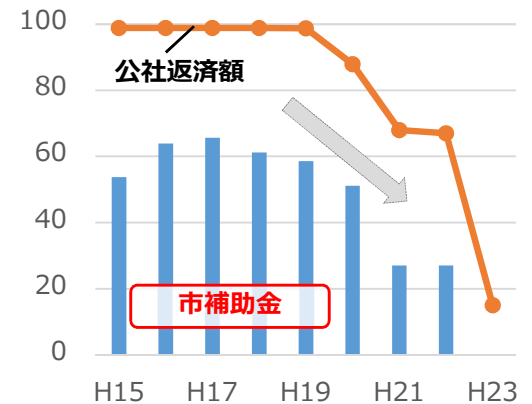
床面積増加

都市整備公社の財務スキーム (イメージ図)



- ①毎年度の収支は黒字
- ②剰余金の一部を基金に積み立て
- ③借入金返済の一部を市が補助
- ④不足分相当を基金から補てん

(百万円) 公社返済額及び市補助金の推移



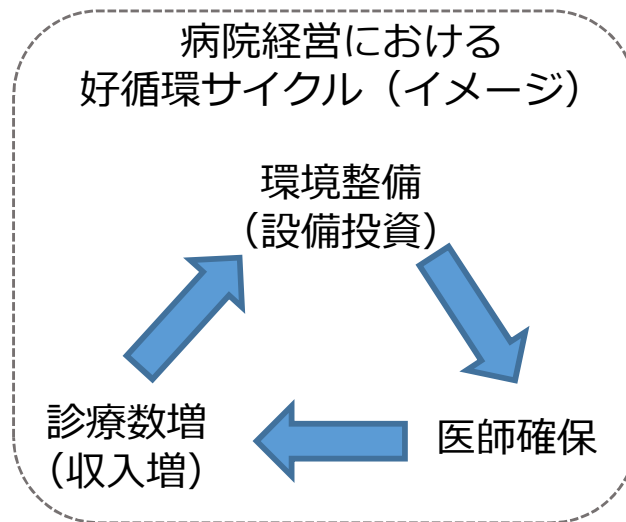
・都市整備公社所有の財産（建物）が移管されても、市の財政負担は変わらない

4. 公営企業（病院事業）における設備投資

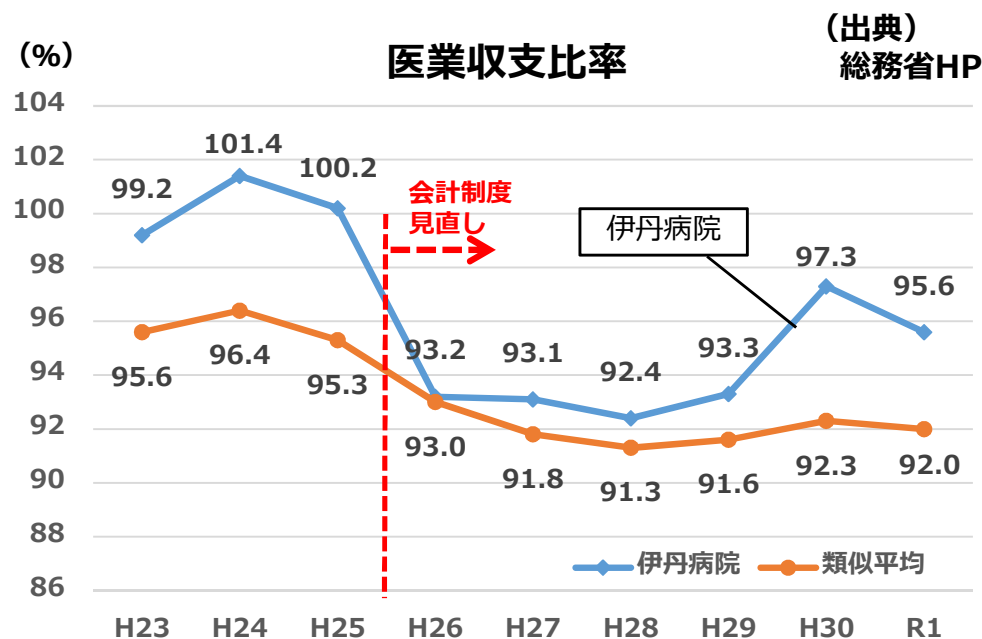
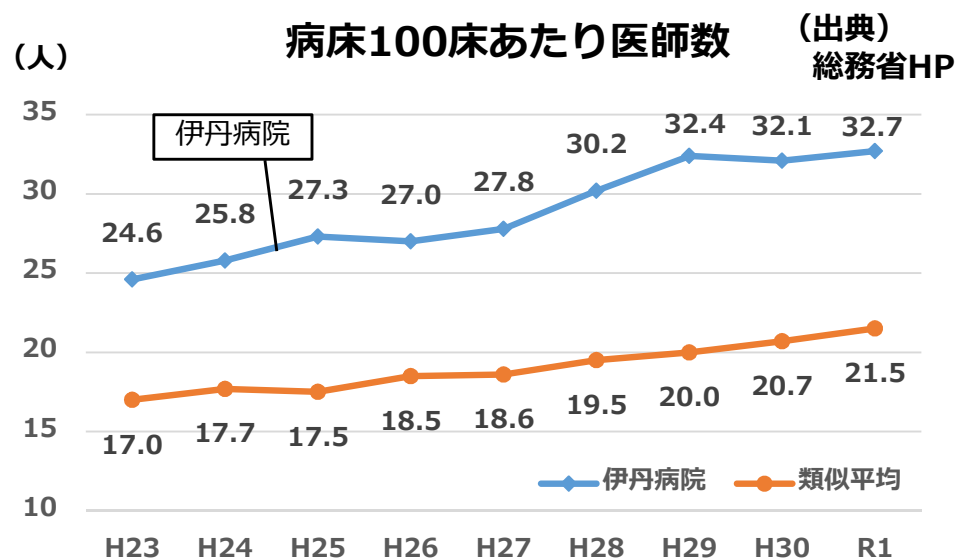
- 医師をはじめとする職員の勤務環境の向上を目的として、医局棟を整備。
- 伊丹病院の病床100床あたりの医師数は、類似平均*1 よりも高く推移。
- 伊丹病院の医業収支比率*2 は、類似平均よりも高く推移。

*1 類似平均：伊丹病院の類似区分（400床以上500床未満）の公立病院における平均

*2 医業収支比率（%）：病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標。医業収益÷医業費用×100で算出。



伊丹病院医局棟（H24.7竣工）
S造3階建て
医局・講堂 等



・ 公営企業として経営上必要な投資を行った結果、経営改善に寄与している

5. 新たな市民ニーズに対応した設備投資（中学校給食センター）

【背景】（H25～H26当時の状況）

- 中学生を取り巻く生活環境の変化（保護者の就労形態の多様化など）
- 全国の8割以上の公立中学校において完全給食を実施
- 兵庫県内41市町のうち32市町が完全給食を実施、残り9市町においても実施予定もしくは実施を検討
- 伊丹市中学校給食基本計画（H26.2）に基づき、整備に着手

中学校における完全給食未実施の
県内自治体（H26当時）

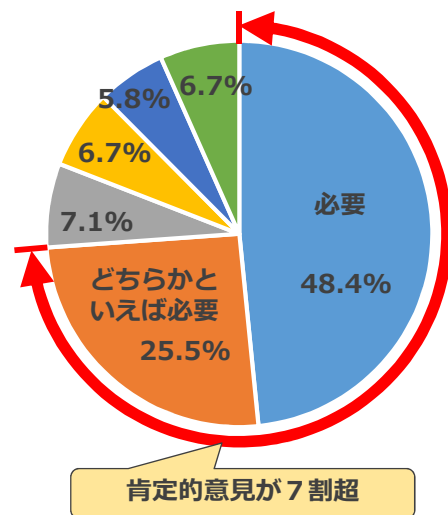


（施設外観）



中学校給食センター（H29.3竣工）
S造2階建て
喫食形態：全員喫食による完全給食
対象校：市内全ての中学校（8校）
提供食数：6,000食/日

市民意識調査結果（H25.9実施）
（中学校における完全給食の必要性）

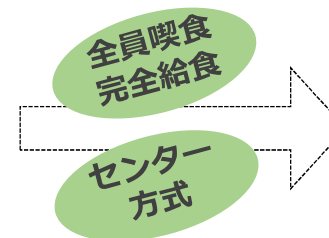


中学校給食センター整備の考え方・効果等（イメージ）

（7つの基本方針）

- ① 栄養バランス
- ② 温かくおいしい給食
- ③ 安全で安心できる給食、アレルギー対応
- ④ 食育の推進
- ⑤ 地産地消の推進
- ⑥ 円滑な導入
- ⑦ 経済性

（形態・方式）



（得られる効果）

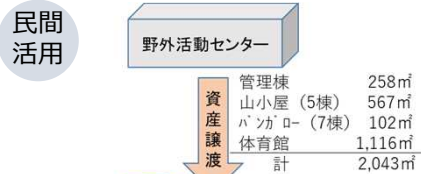


・ 市内中学生の学校生活の充実及び都市間競争を生き抜くために必要な投資

6. これまでの公共施設マネジメントの主な取り組み

野外活動センターの廃止（売却）

H27～H28年度実施



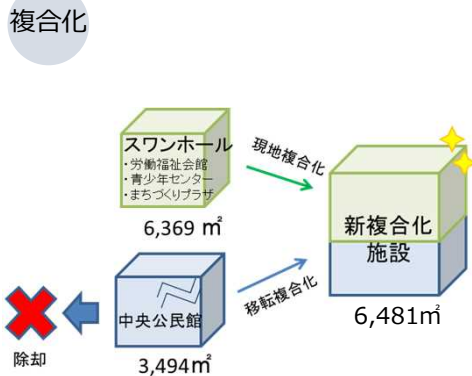
民営化

協定（特約）

- 譲渡後10年の事業継続
- 市内小学校利用時の配慮
- 市民利用時の料金配慮

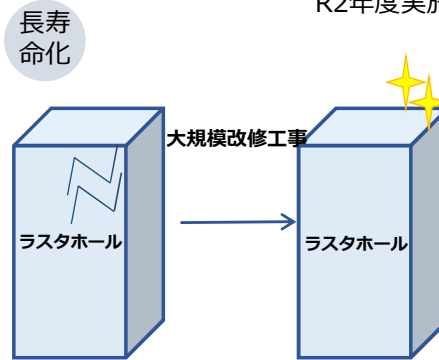
中央公民館の機能移転に伴う労働福祉会館再整備事業

H30～R1年度実施



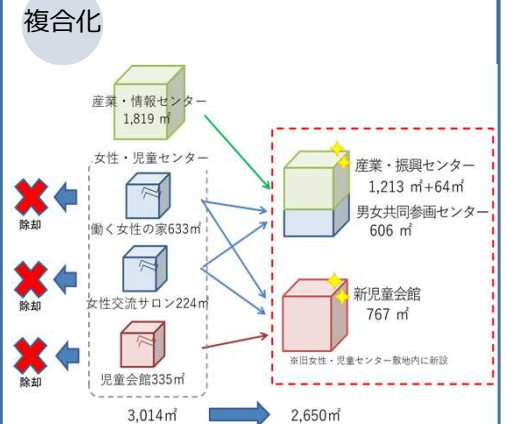
生涯学習センター長寿化工事

R2年度実施



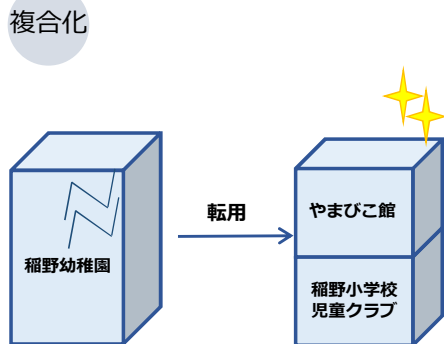
女性・児童センター再編事業

H30～R2年度実施



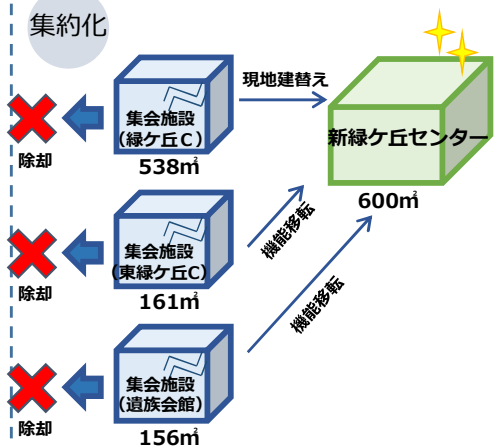
廃園した幼稚園(稲野幼稚園)の有効活用

R2年度実施



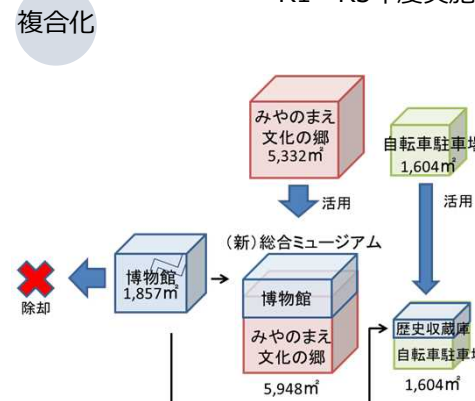
緑ヶ丘センター等集約化事業

H30～R3年度実施



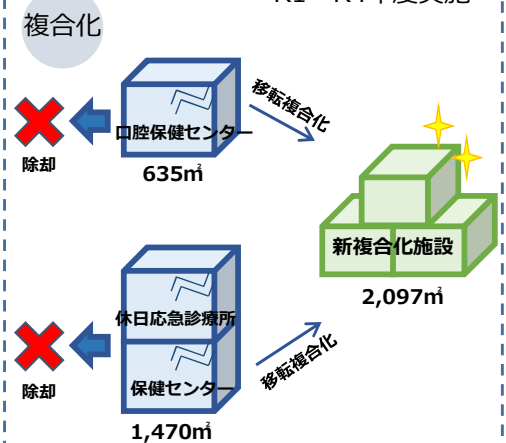
博物館の機能移転に伴う総合ミュージアム整備事業

R1～R3年度実施



新保健センター等複合化施設整備事業

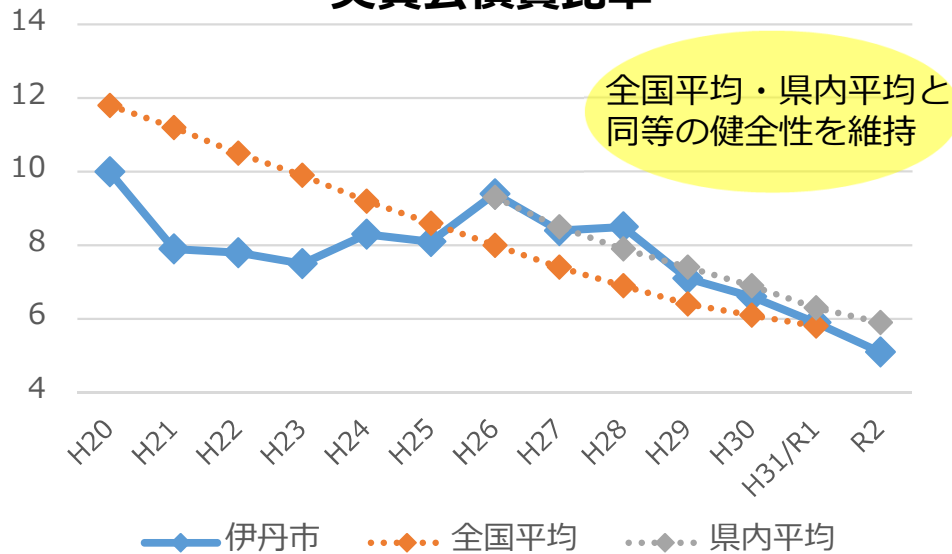
R1～R4年度実施



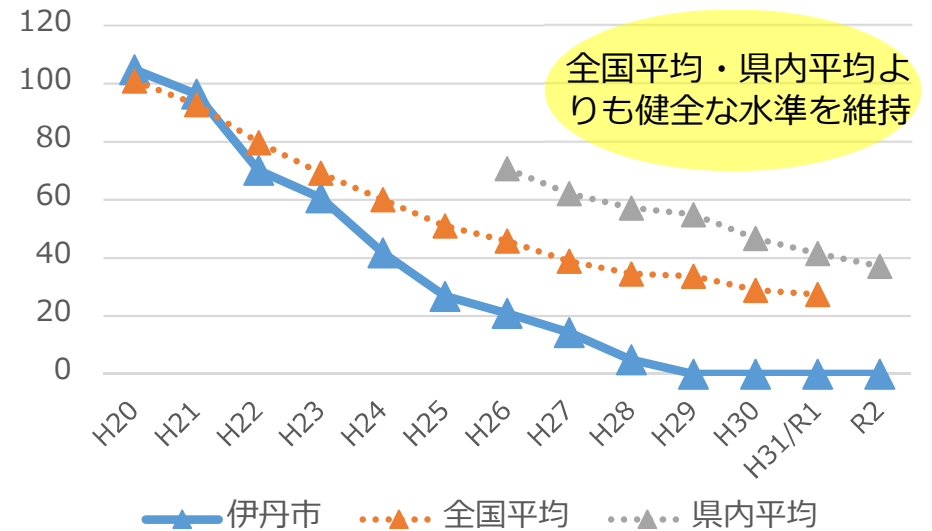
- ・ 再配置基本計画に基づき、様々な手法により公共施設マネジメントを推進
- ・ 将来負担の軽減及び公共施設の適切な維持管理を、着実に実施

7. 財政健全性の検証（まとめ）

実質公債費比率

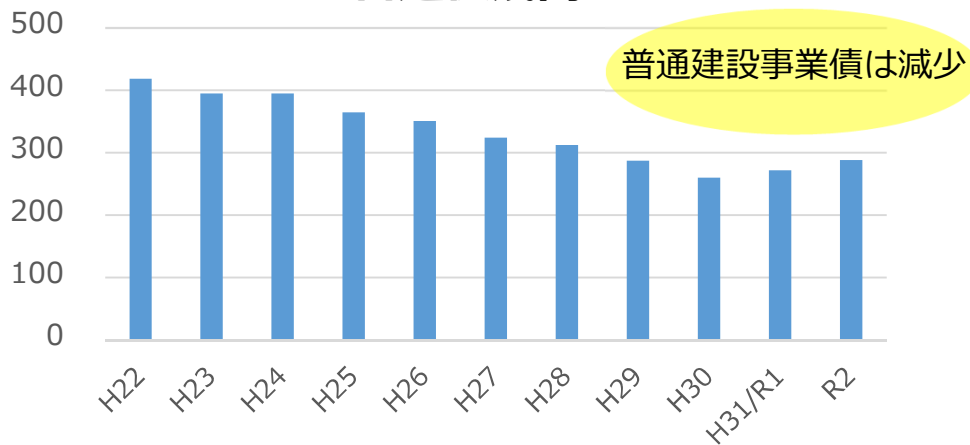


将来負担比率



(億円)

普通債残高



(億円)

基金残高



- ・ 公共施設総量の増加は、都市経営として必要な取組み（行政サービスの充実）
 - ・ 着実な公共施設マネジメントの推進により、将来負担は軽減
- ⇒ 『安定的で持続可能な行財政運営』が実現できているものと認識